

**未来を見据えた持続可能な行財政運営及び  
基本計画総論「財政の状況」の方向性について**



# 未来を見据えた持続可能な行財政運営について



## 〈現行の計画〉

①スリムで変化に強い行政経営システムの構築

②適正定員管理

③デジタルガバメントの構築

④持続可能な財政構造の確立

⑤まちの魅力を高め、区民生活を支える戦略的な情報発信

⑥公共施設等の総合的かつ計画的なマネジメントの推進



## 7つのまちづくりを実現するための行財政運営

人・組織

①地域課題を考え抜き、成長し続ける職員と組織

財政（行革・施設・デジタル）

②持続発展するまちづくりを実現する行財政運営

③未来を見据えた公共施設等のマネジメント

④デジタル技術を活用した効率的かつ質の高い行政サービス

情報

⑤区民生活を支える双方向の情報コミュニケーション

⑥地域の魅力と区民の誇りを高めるシティプロモーション



1

地域課題を考え抜き、成長し続ける職員と組織

取組の目標

職員個々の能力や強み、発想力、主体性を最大限に引き出すとともに、組織の垣根を超えた多様な主体との連携により、限られた行政資源を最大限有効に活用した、柔軟かつ最適な行政経営システムを構築し、区民一人ひとりの満足感(ウェルビーイング)を高めます。

取組方針

複雑・多様化する行政需要への対応

コロナ禍を経て、オンラインを活用した働き方への移行やコミュニティへの意識が変化するなど、人々の価値観の多様化が進み、行政需要がさらに複雑化・多様化しています。

また、我が国は少子高齢化や人口減少といった時代の大きな変革期を迎えており、基礎自治体には、限られた行政資源の中で、これまで以上に個性豊かな地域社会を運営するための変革が迫られています。

持続発展するまちであり続けるためには、区民ニーズや社会情勢の変化にも果敢に挑戦できる人材を確保し、組織的に育成する体制の構築が必要です。

また、質の高い区民サービスを将来にわたり安定的に提供していくため、重要な個人情報保護しながら、複数の分野にまたがる複合的な地域課題などにも総力を挙げて対応できる柔軟な行政経営が求められています。

未来を切り拓く「人財」の育成と成長し続ける組織

- 積極的に現場に出て、区民の声を真摯に受け止め、信頼関係を築くとともに、鋭敏な経営感覚と先見性を政策立案に遺憾なく発揮し、また卓越したコミュニケーション力により多様なステークホルダーと連携しながら、困難な課題を解決できる職員を育成します。
- 職員が自らのアイデアや意欲と責任によって、区民の暮らしを支え、その声を反映した事業の実現を通じて、職員の成長を促すとともに仕事への誇りとやりがいを高めます。また、幹部職員等の適切なマネジメントやライフスタイルに沿った柔軟な働き方など安心して働き続けることのできる環境を実現し、職員の心と身体の健康を維持・向上させ、組織全体の生産性を高めます。

柔軟かつ的確な組織による区政の推進

- 社会経済状況の変化や多様な区民ニーズを機敏に捉えるとともに、部局横断的な庁内プロジェクトや地域団体、大学、民間企業など多様な主体との連携により、組織や地域との「つながり」を活かした柔軟性のある総合的な組織力で、変化する地域課題の解決にスピード感を持って取り組みます。
- 全庁体制による危機事象への対応、事務執行に潜むリスクの可視化と予防策を的確に整備・運用する内部統制の推進により、組織のリスクマネジメントやコンプライアンス体制を更に強化し、区民から信頼される公正・公平な区政運営を実現します。

【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）



# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

- ◇少子高齢化の進展や生産年齢人口が減少する中、区民サービスを維持・向上していくには、一人ひとりの職員の能力を最大限に引き出すとともに、柔軟かつ的確な組織運営を行う必要がある。
- ◇個人のライフプランや価値観が多様化する中、職員がやりがいや成長を実感しながら、柔軟な働き方を選択できる職場環境が求められている。

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「仕事と家庭の両立が難しい」「仕事の適性やキャリアプランについて、職員自ら立候補できる機会がほしい。上司に職員の得意な分野や苦手な業務などを把握してほしい」(採用10年目までの職員アンケート)</li> <li>②「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができている」という区民意識調査の結果、約50%が「そう思う」との回答であった。(区民意識調査)</li> </ul>
施策に反映させた点	<ul style="list-style-type: none"> <li>①柔軟な働き方など職員が安心して働き続けられる環境の整備について明記した。</li> <li>②複数の分野にまたがる複合的な地域課題にも的確に対応できる組織の確立について明記した。</li> </ul>

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点 ※現時点の構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも主役」を意識した点 【平和・人権、多様性の尊重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多様な価値観、様々な背景を持つ職員が活躍でき、職員相互の知見を尊重し活かせる職場の実現のため、「一人ひとりの職員の心と身体の健康を維持・向上」していくことを明記した。</li> <li>②様々な状況の変化や多様な区民ニーズを機敏に捉え、変化する地域課題の解決にスピード感を持って取り組むことを明記した。</li> </ul>
(2)「みんながつながる」を意識した点 【参画・協働・共創】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員が区民の声を真摯に受け止め、信頼関係を築いていくこと、多様なステークホルダーとも連携して、困難な課題を解決していくことを明記した。</li> <li>②部局横断的な庁内プロジェクトや民間活力の活用など、組織や地域との「つながり」の視点を含めた柔軟かつ的確な組織運営の推進を明記した。</li> </ul>
(3)「『としま』らしさがあふれる」を意識した点 【文化・歴史の継承、地域特性の活用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員が積極的にまちに出て、まちのことを知ることで、高度・複雑化する地域課題にも柔軟かつ迅速・的確に対応できる人材を育成していくことを明記した。</li> <li>②全庁一丸での危機事象対応や内部統制によるリスクマネジメント・コンプライアンス体制の強化による公正・公平な区政運営を実現を明記した。</li> </ul>

## 指標設定チェックシート

施策名	1	地域課題を考え抜き、成長し続ける職員と組織
部課名	政策経営部行政経営課、総務部人事課、総務部コンプライアンス担当課	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>職員個々の能力や強み、発想力、主体性を最大限に引き出すとともに、組織の垣根を超えた多様な主体との連携により、限られた行政資源を最大限有効に活用した、柔軟かつ最適な行政経営システムを構築し、区民一人ひとりの満足感(ウェルビーイング)を高める、持続可能な組織運営を実現します。</p>	<p>(1)</p> <p>○積極的に現場に出て、区民の声を真摯に受け止め、信頼関係を築くとともに、鋭敏な経営感覚と先見性を政策立案に遺憾なく発揮し、卓越したコミュニケーション力により多様なステークホルダーと連携しながら、困難な課題を解決できる職員を育成します。</p> <p>○職員が自らのアイデアや意欲と責任によって、区民の暮らしを支え、その声を反映した事業の実現を通じて、職員の成長を促すとともに仕事への誇りとやりがいを高めます。また、幹部職員等の適切なマネジメントやライフスタイルに沿った柔軟な働き方など安心して働き続けることのできる環境を実現し、職員の心と身体の健康を維持・向上させ、組織全体の生産性を高めます。</p>	<p>① 「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と答えた職員の割合【%】</p>	<p>③ キャリアデザイン研修の実施回数【回】</p>	<p>職場の風通しが良く、職員のキャリアを応援しようとする組織風土の醸成</p>
		<p>② ストレスチェックの回収数に占める「高ストレス者」とされた職員の比率【%】</p>	<p>④ ストレスチェック受検率【%】</p>	
	<p>(2)</p> <p>○社会経済状況の変化や多様な区民ニーズを機敏に捉え、部局横断的な庁内プロジェクトや地域団体、大学、民間企業など多様な主体との連携により、組織や地域との「つながり」を活かした柔軟性のある総合的な組織力で、変化する地域課題の解決にスピード感を持って取り組みます。</p> <p>○全庁体制による危機事象への対応、事務執行に潜むリスクの可視化と事前予防策を的確に整備・運用する内部統制の推進により、組織のリスクマネジメントやコンプライアンス体制を更に強化し、区民から信頼される公正・公平な区政運営を実現します。</p>	<p>① 「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができている」と思う区民の割合【%】</p>	<p>③</p>	<p>・区政運営における人的・物的な効率性の向上度合い</p>
		<p>② 内部統制における運用上の不備ありとされたリスクの割合【%】</p>	<p>④ 業務レベルのリスク対応策を整備するリスクの総数【件】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値				
取組方針(1)	成果指標	①	「仕事を通じて、自分の成長を感じている」と答えた職員の割合	%	47.9	50.0	53.0	57.0	61.0	65.0	70.0	新規	
	成果指標	②	ストレスチェックの回収数に占める「高ストレス者」とされた職員の比率	%	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	9.5	新規	
	活動指標	③	キャリアデザイン研修の実施回数	回	5	5	5	5	5	5	5	新規	
	活動指標	④	ストレスチェック受検率	%	83.3	83.5	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	新規	
取組方針(2)	成果指標	①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができています」と思う区民の割合	%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	継続	
	成果指標	②	内部統制における運用上の不備ありとされたリスクの割合	%	-	-	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	新規	
	活動指標	③											
	活動指標	④	業務レベルのリスク対応策を整備するリスクの総数【件】	件	-	-	330	330	330	330	330	新規	

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)			出典
取組方針(1)	成果指標	①	人材育成に関する職員意識調査の「仕事を通じて、自分の成長を感じていますか」の設問に対し「大いに感じている」「感じている」と回答した割合		持続可能な組織運営を実現するには、一人ひとりの職員が仕事を通じて自らの成長を実感できることが重要であるため			所管課データ
	成果指標	②	ストレスチェック(任意)を受けた職員のうち、高ストレスが認められるため、医師等に相談した方がいいとされた職員の比率		職員一人ひとりの心と身体の健康を向上していくためには、自らのストレスの気づきを促し、メンタルヘルス不調になることを未然に防いでいく必要があるため			法定調査
	活動指標	③	キャリアデザイン研修の実施回数		キャリアについて学ぶ研修を実施することで、自身が伸ばしたいと感じる能力や目標等が明確になり、仕事へのチャレンジ意欲や成長実感が感じられるようになることが期待されるため			課作成資料
	活動指標	④	ストレスチェック(任意)を受けた職員の合計		ストレスチェックは労働安全衛生法に基づく調査であり、信頼性の高い調査であるため			法定調査
取組方針(2)	成果指標	①	区民意識調査の「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていますか」の設問に対し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合		区民の意識を直接的に反映した結果であるため			区民意識調査報告書
	成果指標	②	内部統制評価結果報告書において、全体のリスクのうち運用上の不備ありとされたリスクの割合		内部統制の取り組みにより結果的にリスク発生が減少していることを示す指標のため			内部統制評価結果報告書
	活動指標	③						
	活動指標	④	内部統制に関する庁内周知、研修等の取組の実施回数		全庁的に内部統制に対する意識が高まることで、より効果が出ることを期待されるため			課作成資料



### 取組の目標

- 行財政改革による経営資源の最適化により、区民ニーズを的確に捉えた事業を、最少の経費で効果的に展開します。
- 区民ニーズの変化や急激な景気悪化にも耐えられる強固で健全な財政基盤を確立し、持続します。

### 取組方針

#### 持続可能な行財政運営

コロナ禍を経て、ライフスタイルの多様化やデジタル技術の急速な発展などにより、区民ニーズの変化のスピードは加速しています。

また、新型コロナウイルス感染症が5類へと位置付けられたものの、不安定な国際情勢による物価高騰や国・日本銀行の政策転換による長期金利動向など、経済情勢は目まぐるしく変化しており、将来の見通しの不確実性が高まっています。

持続発展するまちであり続けるためには、区民ニーズや社会経済状況の変化に迅速かつ的確に対応しつつ、同時に最少の経費で最大の効果を発揮する行政サービスの適正化を進めることが重要です。さらに、本区の財政構造が景気変動の影響を大きく受けることを踏まえれば、急激な景気悪化にも耐えられる強固で健全な財政基盤を確立することが不可欠です。

#### 【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）

#### 効果的・効率的な行政サービスの提供

- 様々な機会を通じて区民の声を聴き、必要性・有効性・効率性など区民視点から施策のあり方を考え抜き、区民ニーズに即した施策へと再構築(リビルド)を繰り返すことを基本としつつ、デジタルを活用した事務改善、より効率的な手法への転換、事業の統合・集約などにより行政サービスの最適化を追求し、効果的・効率的な区政運営を実現します。
- 削減ありきではなく、業務の量や困難性を十分に考慮したうえで、定員を適正化するとともに、会計年度任用職員や民間活力との連携等を含めた効果的・効率的な職員配置を進めます。

#### 財政手法を駆使した強固な財政基盤の構築

- 直面する課題に対応しつつ、老朽化施設の更新や市街地再開発事業などを確実に進めるため、必要な基金を着実に確保するとともに、長期金利等の状況を見極めながら特別区債を有効に活用するなど、中長期的視点に立った計画的な財政運営を実現します。
- 経常収支比率などの財政指標により健全性を常時チェックするばかりでなく、適切な執行管理や一定規模の財調基金残高を確保するなど、**危機に備える安定的な財政基盤を構築**します。

#### 歳入確保への積極的な取組み

- DXの推進や法律の専門家との連携、外国人住民への制度周知など、収納対策を強化し、各種債権の収納率を向上するとともに、**国や都補助金の活用、ふるさと納税の充実、特定事業への寄附の推進など、資金調達を強化し、歳入確保を積極的に進めます。**
- 不合理な税制改正や都区財政調整協議など是正すべき点については、国や東京都に対し主張し続けるとともに、こうした課題を区民と共有し、問題意識を高めます。

# 施策チェックシート

## 1. 施策名

	旧	新
施策名	持続可能な財政構造の確立	持続発展するまちづくりを実現する行財政運営

## 2. 施策のポイント

現状	課題	取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍やデジタル技術の発展などにより区民ニーズが複雑化、高度化</li> <li>・不安定な国際情勢や国の政策転換により、経済情勢も変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民ニーズや社会経済状況の変化に迅速かつ的確に対応</li> <li>・最少の経費で最大の効果を発揮するよう、行政サービスの適正化</li> <li>・急激な景気悪化にも耐えられる財政基盤の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的・効率的な行政サービスの提供</li> <li>・財政手法を駆使した強固な財政基盤の構築</li> <li>・歳入確保への積極的な取組み</li> </ul>

## 3. 現計画における主な取組

主な取組
効率的な公共サービスの提供(業務の外部化・指定管理者制度・民営化)
マネジメントサイクル(PDCAサイクル)の活用
新たな事業展開を見据えた事業の再構築(リビルド)
適正な定員管理
歳入の確保
中長期的な視点に立った行財政運営

# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

- ・コロナ禍を経てライフスタイルが多様化し、デジタル技術の急速な発展などにより、区民ニーズが複雑化、高度化
- ・不安定な国際情勢による物価高騰や国の政策転換による長期金利動向など、経済情勢は目まぐるしく変化

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度当初予算を審議する令和6年第一回定例会では、すべての会派から「身の丈に合った財政運営」を求められた。</li><li>・学校改築計画の裏付けとして、財政のひっ迫を心配する声が議会から出ている。</li><li>・長期金利動向の変化の兆しを受け、基金と起債の活用方針を改めて検討するよう、議会から求められている。</li><li>・不合理な税制改正や都区財政調整などについて、国や都に主張し続け、区民の意識を高めるよう、議会から求められている。</li></ul>
施策に反映させた点	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後控える老朽化施設の更新や市街地再開発事業、刻々と変化する区民ニーズに着実に対応するため、常に区民目線で事業を見直し、計画的な基金の積み増しなどの計画性を持って財政運営することが重要である。</li><li>・国や都に対し、主張すべきことは主張し続けるとともに、課題を区民と共有し、問題意識を高める。</li><li>・業務の量や困難性を十分に考慮したうえでの、定員適正化による効果的・効率的な職員の配置が必要である。</li></ul>

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点 ※現時点での構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも 主役」を意識した点 【平和・人権、多様性 の尊重】	<ul style="list-style-type: none"><li>・多様化、高度化する行政需要へ対応するため、行政サービスの最適化を追求し、効果的・効率的な行政サービスの提供及び計画的・安定的な財政運営の実現を明記した。</li><li>・歳入確保の取組みでは、外国人住民への制度周知を盛り込んだ。</li></ul>
(2)「みんながつなが る」を意識した点 【参画・協働・共創】	<ul style="list-style-type: none"><li>・不合理な税制改正や都区財政調整などについて、区民の意識を高めることを目指す。</li></ul>
(3)「『としま』らしさ があふれる」を意識 した点 【文化・歴史の継承、 地域特性の活用】	<ul style="list-style-type: none"><li>・財政調整交付金は景気変動の影響を受けやすいため、不測の事態に対応できるよう、財政調整基金残高の確保が必要である。</li><li>・区施設の改築計画方針や市街地再開発事業を着実に実施するためにも、特定目的基金への計画的な積み増しや長期金利動向を踏まえた起債の有効活用が必須である。</li></ul>

## 指標設定チェックシート

施策名	2	持続発展するまちづくりを実現する行財政運営
部課名	政策経営部 財政課 / 行政経営課 / 総務部人事課 / 区民部 収納推進担当課長	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価				定性的評価
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
<p>○行財政改革による経営資源の最適化により、区民ニーズを的確に捉えた事業を、最少の経費で効果的に展開します。</p> <p>○区民ニーズの変化や急激な景気悪化にも耐えられる強固で健全な財政基盤を確立し、持続します。</p>	<p>(1) 効果的・効率的な行政サービスの提供 ○様々な機会を通じて区民の声を聴き、必要性・有効性・効率性など区民視点から施策のあり方を考え抜き、区民ニーズに即した施策へと再構築(リビルド)を繰り返すことを基本としつつ、デジタルを活用した事務改善、より効率的な手法への転換、事業の統合・集約などにより行政サービスの最適化を追求し、効果的・効率的な区政運営を実現します。</p> <p>○削減ありきではなく、業務の量や困難性を十分に考慮したうえで、定員を適正化するとともに、会計年度任用職員や民間活力との連携等を含めた効果的・効率的な職員配置を進めます。</p>	①	「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていく」と思う区民の割合【%】	③		
		②	見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	④	行政評価実施事業数(施策+事務事業)【件】	
	<p>(2) 計画的・安定的な財政運営 ○直面する課題に対応しつつ、老朽化施設の更新や市街地再開発事業などを確実に進めるため、必要な基金を着実に確保するとともに、長期金利等の状況を見極めながら特別区債を有効に活用するなど、中長期的視点に立った計画的な財政運営を実現します。</p> <p>○経常収支比率などの財政指標により健全性を常時チェックするばかりでなく、適切な執行管理や一定規模の財調基金残高を確保するなど、危機に備える安定的な財政基盤を構築します。</p>	①	経常収支比率(%)	③		
		②		④		
	<p>(3) 歳入確保の取組み ○DXの推進、法律の専門家と連携した収納対策、外国人住民への制度周知など、収納対策を強化し、各種債権の収納率を向上するとともに、国や都補助金の活用、ふるさと納税の充実、特定事業への寄附の推進など、資金調達を強化し、歳入確保を積極的に進めます。</p> <p>○不合理な税制改正や都区財政調整協議などは是正すべき点については、国や東京都に対し主張し続けるとともに、こうした課題を区民と共有し、問題意識を高めます。</p>	①	特別区民税収納率(%)	③	コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税率(%)	
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針(1)	成果指標	① 「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができています」と思う区民の割合	%	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	継続	
	成果指標	② 見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	割合	実績値は調査中、目標値は実績値を踏まえて検討						新規		
	活動指標	③										
	活動指標	④ 行政評価実施事業数(施策+事務事業)	件	109	103	120	120	120	120	120	継続	
取組方針(2)	成果指標	① 経常収支比率	%	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	70~80	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③										
	活動指標	④										
取組方針(3)	成果指標	① 特別区民税収納率	%	97.87	97.90	97.95	98.00	98.05	98.10	98.15	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③ コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税率	%	82.0	82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0	継続	
	活動指標	④										

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	① 区民意識調査の「区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていますか」の設問に対し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	区民の意識を直接的に反映した結果であるため		区民意識調査報告書
	成果指標	② 見直し・改善判定のうち、必要な対策を講じた割合	見直しや改善を要する事業等について、実際に対策を講じた結果を表しているため。		
	活動指標	③ 施策評価と事務事業評価表の実施件数	施策及び事業における進捗状況・評価内容を表しているため		所管課データ
	活動指標	④			
取組方針(2)	成果指標	① 経常的経費充当一般財源/経常一般財源歳入×100	財政構造の弾力性を表す指標。適正水準は70~80%とされている		所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③			
	活動指標	④			
取組方針(3)	成果指標	① 特別区民税収入額/特別区民税調定額×100	二大財源の一つである区民税の収入状況を示す指標		所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③ コンビニ、口座振替及びキャッシュレス納税件数/特別区民税普通徴収全体の納税件数×100	納税者の利便性と収納率の向上につながる指標であるため		所管課データ
	活動指標	④			



3

未来を見据えた公共施設等のマネジメント

取組の目標

- 必要な区民サービスを持続的に提供するため、公共施設等の安全性や快適性を保ちつつ、中長期的な視点からの再構築と効率的な管理運営を進めます。

取組方針

公共施設等の更新と行政需要の変化

高度成長期に集中的に整備された公共施設等が、建築から50年を経過し、老朽化が進んでいます。こうした中、近年の資材や人件費の高騰が、施設の維持や管理経費の増加に拍車をかけており、更なる財政負担の増大が見込まれます。

また、景気変動に伴う国の政策転換や、近年の人口増加、社会状況の変化に合わせ、公共施設のあり方や行政需要が複雑化してきた一方、少子高齢化の進展により、長期的には人口減少に転じることが予測されます。

老朽化した公共施設等への対応にあたっては、相当の期間と多額の経費を要することから、計画的かつ着実に更新や長寿命化を進めながら、安全性と快適性を保つことが必要です。

また、施設を更新する際には、区民ニーズの多様化や財政の健全性に加え、将来における施設需要の変化を見通しながら、施設配置や維持管理経費を最適化することが求められています。

計画的な施設の更新と再構築

- 必要な区民サービスを持続的に提供するため、健全な財政に裏付けられた区施設の改築改修計画を策定し、着実に建物を更新(改築・スケルトン改修)するとともに、道路や橋梁などのインフラについても、長寿命化計画等に基づき改修等を進めます。
- 区施設の計画策定時や改築・新設する際には、既存施設の利用状況や利便性をはじめ、地域全体の効用の最大化を目的とした他施設との複合化や集約化、未利用地の転用、国や東京都などの有する資産の活用などによる施設の再構築を検証するとともに、将来の行政需要の変化を見据えながら、延床面積の適切な管理に努めます。

安全や環境に配慮した施設の更新・管理

- 定期的な点検や躯体の健全度調査などの結果に基づき、設備とインフラの適切な改修や補修による予防保全に努めながら、安全性や快適性を確保します。
- 公共施設等の更新や改修時には、ユニバーサルデザイン化の推進、防災機能の向上、遮熱性舗装や緑化推進などのヒートアイランド対策、区有施設のZEB化(建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指した建物)などの取組みにより、環境負荷の低減を進めるとともに、省エネルギーや高効率の設備を活用することで、ランニングコストの抑制を目指します。

多様な主体と連携した管理運営

- 公園のエリアマネジメントにおける地域住民などの主導による管理、民間活用による公民が連携した管理などにより、多様な主体との協働による施設等の効果的・効率的な管理・運営に努めます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中 (指標設定チェックシート中の指標から選定予定)



# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

- ・資材や人件費の高騰が著しく、施設整備や維持管理に要する経費の抑制が困難になっている。
- ・地球温暖化の進展を踏まえ、CO2排出量の削減、省エネルギー化、ヒートアイランド対策等の重要性が増している。
- ・少子高齢化の進展等により、バリアフリー化をはじめとして施設に求められる機能が拡充している。
- ・PFIやエリアマネジメントなど、公民連携による施設の整備・維持管理の事例が増えている。

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化した施設の着実な更新(安全性や快適性の確保、バリアフリー化への対応)</li><li>・防災機能の強化</li></ul>
施策に反映させた点	<ul style="list-style-type: none"><li>・区施設の改築改修計画の策定することを明記した。</li><li>・施設的环境性能、ユニバーサルデザイン、防災機能に関する考え方を明記した。</li></ul>

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点

(1)多様性を意識した点	○ユニバーサルデザインに関する考え方を明記した。
(2)参画と協働を意識した点	○地域住民などの主導による管理、民間活用による公民が連携した管理など、多様な主体との協働について明記した。
(3)豊島区らしさを意識した点	○高密かつコンパクトな地理的特性を踏まえ、地域全体の効用の最大化を目的とした他施設との複合化や集約化による施設の再構築について記載した。 ○将来の人口推計や行政需要の変化を意識した、延床面積の適切な管理に言及した。

## 指標設定チェックシート

施策名	3	将来を見据えた公共施設等のマネジメント
部課名	政策経営部施設計画担当課長	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点		
<p>○必要な区民サービスを持続的に提供するため、公共施設等の安全性や快適性を保ちつつ、中長期的な視点からの再構築と効率的な管理運営を進めます。</p>	<p>(1) ○必要な区民サービスを持続的に提供するため、健全な財政に裏付けられた区施設の改築改修計画を策定し、着実に建物を更新(改築・スケルトン改修)するとともに、道路や橋梁などのインフラについても、長寿命化計画等に基づき改修を進めます。 ○区施設の計画策定時や改築・新設する際には、既存施設の利用状況や利便性をはじめ、地域全体の効用の最大化を目的とした他施設との複合化や集約化、未利用地の転用、国や東京都などの有する資産の活用などによる施設の再構築を検証するとともに、将来の行政需要の変化を見据えながら、延床面積の適切な管理に努めます。</p>	①	区が保有及び管理する施設の延床面積	③	解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	<p>未利用地の転用や資産活用、施設の再構築により、複合化や集約化した施設や施設配置に伴う利用者の利便性や満足度</p> <p>児童数の増加などの社会状況による新たな行政需要への対応</p>
		②	橋梁の長寿命化進捗率	④	橋梁の長寿命化工事件数	
	<p>(2) ○定期的な点検や躯体の健全度調査などの結果に基づき、設備やインフラの適切な改修や補修による予防保全に努めながら、安全性や快適性を確保します。 ○公共施設等の更新や改修時には、ユニバーサルデザイン化の推進、防災機能の向上、遮熱性舗装や緑化推進などのヒートアイランド対策、区有施設のZEB化(建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを旨とした建物)などの取り組みにより、環境負荷の低減を進めるとともに、省エネルギーや高効率の設備を活用することで、ランニングコストの抑制を目指します。</p>	①	学校改築の進捗率	③	学校改築工事件数	<p>施設更新時の環境配慮や省エネルギー設備の導入などに関するガイドラインの策定</p> <p>みどりの条例などによる、施設更新等に伴う緑化の推進</p>
		②		④		
	<p>(3) ○公園のエリアマネジメントにおける地域住民などの主導による管理、民間活用による公民が連携した管理などにより、多様な主体との協働による施設等の効果的・効率的な管理・運営に努めます。</p>	①	イケ・サンパークの利用者満足割合	③		
		②	図書館の利用者満足割合	④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標	① 区が保有及び管理する施設の延床面積	万㎡	45.13	45.44	44.86	検討中			継続		
	成果指標	② 橋梁の長寿命化進捗率	%	33.3	33.3	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	継続	
	活動指標	③ 解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	万㎡	-0.88 +1.66	-0.60 +0.91	-0.89 +0.31	検討中			新規		
	活動指標	④ 橋梁の長寿命化工事件数	件	1	2	2	1	1	1	1	新規	
取組方針(2)	成果指標	① 学校改築の進捗率	件	33.3	33.3	33.3	33.3	35.7	35.7	35.7	新規	
	成果指標	②										
	活動指標	③ 学校改築工事件数	件	0	1	1	1	1	0	0	新規	
	活動指標	④										
取組方針(3)	成果指標	① イケ・サンパークの利用者満足割合	%	93.7	94.0	94.3	94.6	94.8	95.1	95.4	新規	
	成果指標	② 図書館の利用者満足割合	%	86.7	87.0	87.3	88.4	88.7	89.0	89.3	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	① 区が保有及び管理する施設の延床面積	改築・改修費や維持管理費の増減に関わる基本的な指標であるため		所管課データ
	成果指標	② 橋梁の長寿命化計画に定める対象施設の長寿命化進捗率	橋梁が中長期的に安全に維持されていくことを示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	③ 区が保有及び管理する施設のうち、前年度に解体等により減少、建設等により増加した施設の延床面積	施設の延床面積の増減要因を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	④ 橋梁の長寿命化計画対象施設にかかる長寿命化工事件数	成果指標②の活動量を示す指標であるため		所管課データ
取組方針(2)	成果指標	① 改築済の区立小中学校/区立小中学校数	建物の更新状況を示す指標であるため		所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③ 区立小中学校の改築工事件数	成果指標②の活動量を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標	④			
取組方針(3)	成果指標	① 指定管理を導入している施設にかかる利用者アンケートの総合評価において、「満足」「ほぼ満足」と回答している割合	多様な主体による管理運営による効果を図る指標であるため		所管課データ
	成果指標	② 指定管理を導入している施設にかかる利用者アンケートの総合評価において、「満足」「ほぼ満足」と回答している割合	多様な主体による管理運営による効果を図る指標であるため		所管課データ



4

デジタル技術を活用した効率的かつ質の高い行政サービス

## 取組の目標

デジタル技術を活用し、庁内業務を再構築することにより、質の高い区民サービスを効率的かつ持続的に提供していきます。

## 取組方針

### デジタル技術に対するニーズの拡大

コロナ禍を経て、区民一人ひとりの生活スタイルが変容するとともに、生成AIやRPAを始めとするデジタル技術も急速な進化を遂げ、こうした技術の活用も一般化・日常化しつつあります。

また、自治体のネットワーク環境でも、業務効率化に資するソフトウェアなどクラウドサービスの利用ニーズが拡大しています。

多様化する区民ニーズへのデジタル技術を活用した対応を求める声が高まる一方、デジタル化の恩恵を享受できていない方々とのデジタルデバイド(情報格差)の問題も表面化しています。

また、自治体のネットワーク環境の多くは、インターネット環境から分離して構築されており、クラウドサービスの活用が遅れています。

あわせて、デジタル技術の活用には、それら技術を使いこなせる人材の確保が不可欠となっています。

### 区民ファーストの視点に立ったデジタル技術活用による区政の再構築

- 区民のライフスタイルの多様化に応じ、あらゆる世代の区民がデジタル技術の恩恵を享受できるよう、デジタルデバイドの課題に的確に対応しつつ、**デジタル技術活用**に際して、**すべての分野において区民ファーストの視点で区政を見直します。**
- **行政手続きのデジタル化を積極的に進めることにより、時間や場所を選ばない「来庁不要」や「書かない窓口」などサービスの向上を強力に推進します。**
- デジタル化に合わせて業務の手順や進め方を徹底的に見直し、区民目線で手続き等をより分かりやすくシンプルに改善するとともに、事務の効率化や再構築を積極的に進めます。

### DXの推進体制の確保

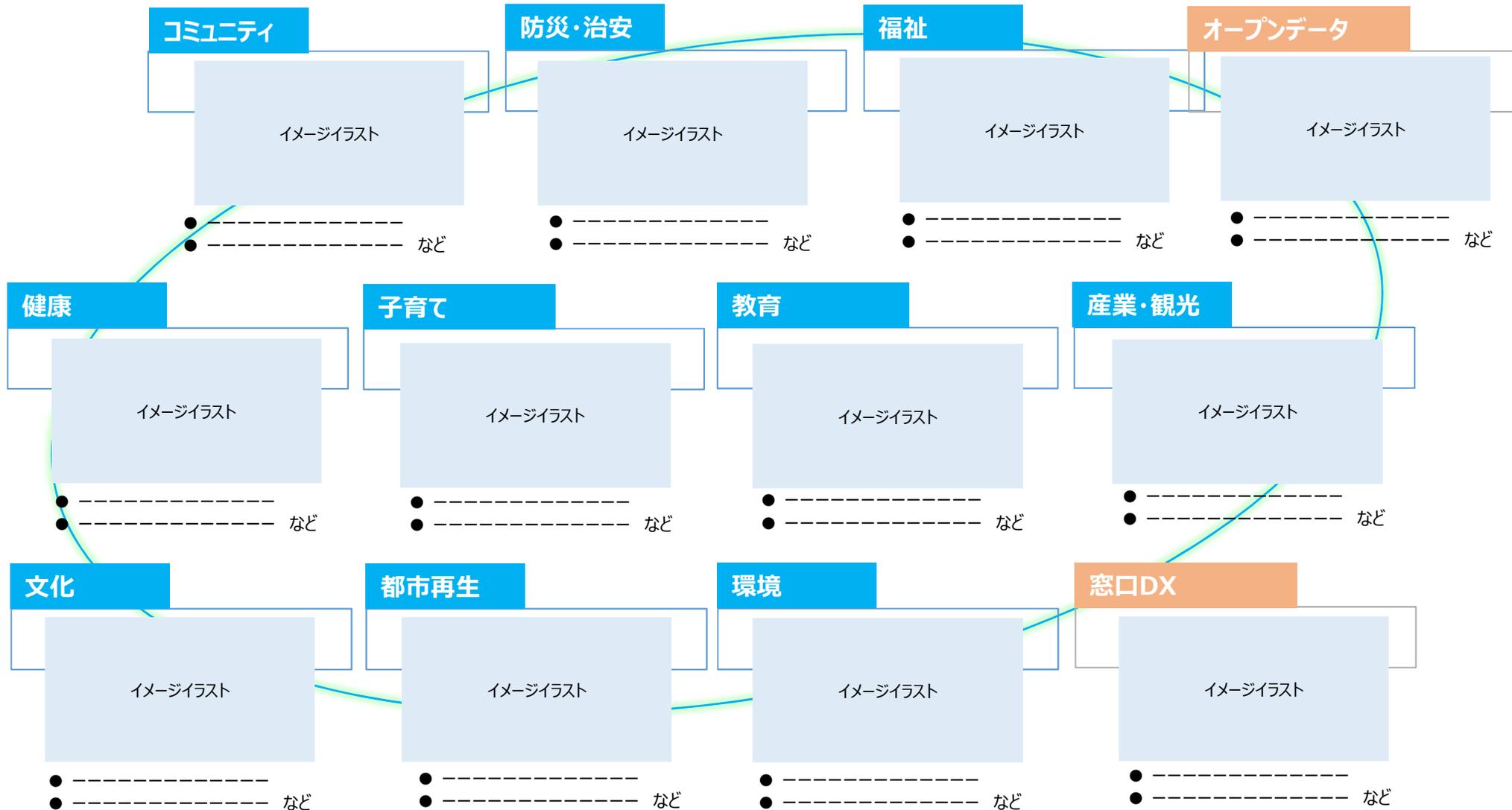
- 個人情報保護に留意しつつ、**業務効率化に資するクラウドサービス等を積極的に活用していくため、庁内のネットワーク環境の見直しを進めます。**
- デジタル人材の確保が難しい中でも各職場での取組みが自走できるよう、**DXにおける職員の行動規範を定める**ほか、研修・研究の機会を充実させることにより、職員一人ひとりが「DXの実践者」となるよう職員の意識を改革します。
- 各部局でのDXの取組みを支援するため、デジタル技術に精通した専門職を積極的に活用するほか、**全庁的な取組みをコーディネートするための体制を構築**します。

## 【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）

あらゆる分野においてデジタル技術を積極的に活用することで、区民サービスの質を飛躍的に高めるとともに、日々の暮らしに新たな価値を創出することで、区民一人ひとりのWell-beingを向上させます。

## 分野ごとの取組のイメージ



# 施策チェックシート

## 1. 施策名

	旧	新
施策名	デジタルガバメントの構築	デジタル技術を活用した効率的かつ質の高い行政サービス

## 2. 施策のポイント

現状	課題	取組方針
①社会活動の変容、デジタル技術の急速な進化・一般化 ②クラウドサービスのニーズ拡大	①-1手続きのオンライン化対応が不十分 ①-2デジタルデバイドの表面化 ②インターネットから分離されたネットワーク環境 ③デジタル人材の確保・育成	①-1 区民ファーストの視点での区政の見直し ①-2 「来庁不要」「書かない窓口」の実現 ② 庁内ネットワーク環境の見直し ③-1 DX人材の育成 ③-2 庁内推進体制の構築

## 3. 現計画における主な取組

主な取組
デジタル化を含めた区民サービスの向上
電子申請システムの導入促進
個人情報保護のための情報セキュリティの強化
ITを活用した事務の効率化
デジタル人材の活用・育成

# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

### 【社会動向】

- ◇社会におけるデジタル技術の進化・一般化
- ◇コロナによる社会活動の変容
- ◇デジタル人材の全国的な不足

### 【国計画等】

- ◇デジタル社会の実現に向けた重点計画(R4.6月、閣議決定)
- ◇自治体DX推進計画(R5.12月改定、総務省)

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の手続きや相談対応をもっとオンライン化してほしい。</li> <li>・行政サービスのデジタル化は不要事業の廃止など業務の効率化とセットで進めるべき。</li> <li>・行政サービスのデジタル化を機に、庁内横断的な業務連携も実現させてほしい。 (いずれも R4 DX推進計画パブリックコメントより)</li> </ul>
施策に反映させた点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応可能な行政手続きすべてのオンライン化を盛り込んだ。</li> <li>・施策の目的は行政サービスの「デジタル化」ではなく、デジタル技術の活用により業務を再構築し、その結果として「区民サービスを向上させる」ことである事を明記した。</li> </ul>

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点 ※現時点での構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも 主役」を意識した点 【平和・人権、多様性の尊重】	区民のライフスタイルの多様化に合わせて、区役所の窓口で申請が必要な行政手続きが、時間と場所を選ばず「来庁不要」で完結する取組みを明記した。
(2)「みんながつながる」を意識した点 【参画・協働・共創】	行政手続きを区民目線でわかりやすくシンプルなものに見直すことを明記した。
(3)「『としま』らしさ があふれる」を意識した点 【文化・歴史の継承、 地域特性の活用】	土日開庁の縮小に合わせて、「来庁不要」と「書かない窓口」を同時に推進することを明記した。

## 指標設定チェックシート

施策名	4	デジタル技術を活用した効率的かつ質の高い行政サービス
部課名	政策経営部 情報管理課	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点		
デジタル技術を活用し、庁内業務を再構築することにより、質の高い区民サービスを効率的かつ持続的に提供していきます。	(1) ○区民のライフスタイルの多様化に応じ、あらゆる世代の区民がデジタル技術の恩恵を享受できるよう、デジタルデバイドの課題に的確に対応しつつ、デジタル技術活用之際して、すべての分野において区民ファーストの視点で区政を見直します。 ○行政手続きのデジタル化を積極的に進めることにより、時間や場所を選ばない「来庁不要」や「書かない窓口」などサービスの向上を強力に推進します。 ○デジタル化に合わせて業務の手順や進め方を徹底的に見直し、区民目線で手続き等をより分かりやすくシンプルに改善するとともに、事務の効率化や再構築を積極的に進めます。	①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	③	コンビニ交付発行件数	
		②		④		
	(2) ○個人情報保護に留意しつつ、業務効率化に資するクラウドサービス等を積極的に活用していくため、庁内のネットワーク環境の見直しを進めます。 ○デジタル人材の確保が難しい中でも各職場での取組みが自走できるよう、DXにおける職員の行動規範を定めるほか、研修・研究の機会を充実させることにより、職員一人ひとりが「DXの実践者」となるよう職員の意識を改革します。 ○各部局でのDXの取組みを支援するため、デジタル技術に精通した専門職を積極的に活用するほか、全庁的な取組みをコーディネートするための体制を構築します。	①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	③	DX関連研修の受講者数	
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名			
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値		
取組方針(1)	成果指標	①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合	%	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。				新規				
	成果指標	②											
	活動指標	③	コンビニ交付発行件数	件	126,128	③の目標値は検討。				継続			
	活動指標	④											
取組方針(2)	成果指標	①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)	%	①の実績値は調査中・目標値は実績値を踏まえ検討。				新規				
	成果指標	②											
	活動指標	③	DX関連研修の受講者数	人	55.0	75.0	100.0	130.0	170.0	210.0	250.0	新規	
	活動指標	④											

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標	①	オンラインにて対応可能な行政手続きの割合		「来庁不要区役所」の実現度を把握するうえで最も適当な指標であるため。		庁内調査
	成果指標	②					
	活動指標	③	コンビニ交付発行件数		来庁不要な手続きのニーズにどの程度応えられているのかを把握するうえで適当な指標であるため。		所管課調査
	活動指標	④					
取組方針(2)	成果指標	①	職員アンケート結果(デジタル化の浸透度)		職員の意識変革の度合いを測るうえで最も適当な指標であるため。		庁内でのアンケート調査
	成果指標	②					
	活動指標	③	DX関連研修の受講者数		職員のITリテラシーを向上させるうえで最も効果的な取組みが研修受講であるため。		所管課調査
	活動指標	④					



5

区民生活を支える双方向の情報コミュニケーション

取組の目標

- 区民参画を更に促進するとともに、区民から寄せられた意見を区政に反映させる取組を進めます。
- 誰もが必要な情報を容易に受け取れるよう、相手の立場に立った情報発信に取り組みます。

取組方針

区民参画意識の高揚

区民の声やパブリックコメントなどの従来の取組に加え、子どもレターや区民提案制度の導入などにより区民参画の機運が高まっています。

多様な区民の意見を聴く機会を広げるとともに、こうした意見を政策形成や業務改善等に活かすための仕組みづくりが求められています。

デジタル媒体の普及

コロナ禍を契機にデジタル化が加速し、情報発信においてもSNS等のデジタル媒体での情報取得ニーズが高まっています。

デジタルデバイスに配慮しつつ、情報を受け取る側の視点に立った、誰もが分かりやすく容易に受け取れる情報を的確に発信することが必要となっています。

開かれた区政運営の推進

- これまで区に声を届けにくかった方をはじめ、区政への関心が低かった方などの声を、様々な機会や仕組みを通じて傾聴するとともに、寄せられた意見や要望を精査・分析し、区政運営の改善に活かせるよう広聴機能を充実します。
- 区民の意見等を政策の立案、実施、評価のそれぞれのプロセスにおいて反映しながら、地域特性を活かしたまちづくりを展開していくために、区民の多様性や参加しやすい環境づくりに留意しつつ、地域課題を共有するための基礎データ等を電子化し、積極的に公開することにより、区民の区政や地域課題への関心を高めるとともに、参画の機会を拡充します。

多様な媒体を活用した戦略的な情報発信

- 広報としまやホームページなどの基幹媒体に加え、XやLINEといったSNSなどを積極的に活用し、伝えたい相手に最適な手段で情報提供できるよう戦略的に発信します。
- 新聞記事や報道番組等への掲載・放映を通じて、区の実情や魅力をタイムリーに区内外へ幅広く発信・PRするため、社会的に注目度の高い事項に関する区の実情を定例の区長記者会見やプレスリリースを通じて、積極的に報道機関に発信します。
- 区民ニーズの変化や生成AIなど新技術の普及に合わせて、常に効率的・効果的に情報を提供し続けられるよう、適宜、情報発信のあり方を検証しながら、広聴機能の充実とあわせて区民との双方向によるコミュニケーションの強化に取り組みます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）



# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

- ◇子どもレターや区民提案制度の導入などにより、区民参画の機運の高まり
- ◇コロナ禍を契機とするデジタル化の進展
- ◇SNS等のデジタル媒体での情報取得ニーズの高まり

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合が49.9%、「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合が48.5%にとどまっている。広報としまやホームページによる情報取得に加え、区や民間のSNSを利用する方が一定の割合を占めている(区民意識調査)。
施策に反映させた点	区政運営の改善に活かせるよう広聴機能の一層の充実に取り組むことを明記した。 区民の情報取得ニーズは多様化しているため、デジタルデバイドにも配慮し、伝えたい相手に適した戦略的な情報発信に取り組むことを明記した。

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点 ※現時点の構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも 主役」を意識した点 【平和・人権、多様性の尊重】	区民の情報取得ニーズは多様化しているため、デジタルデバイドにも配慮し、伝えたい相手に適した戦略的な情報発信に取り組むことを明記した。《再掲》
(2)「みんながつながる」を意識した点 【参画・協働・共創】	区政運営の改善に活かせるよう広聴機能の一層の充実に取り組むことを明記した。《再掲》
(3)「『としま』らしさ があふれる」を意識した点 【文化・歴史の継承、 地域特性の活用】	区民の多様性や参加しやすい環境づくりに留意しながら、参画の機会の拡充に取り組むことを明記した。

## 指標設定チェックシート

施策名	5	区民生活を支える双方向の情報コミュニケーション
部課名	政策経営部 区民相談課・広報課	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>○区民参画を更に促進するとともに、区民から寄せられた意見を区政に反映させる取組を進める</p> <p>○誰もが必要な情報を容易に受け取れるよう、相手の立場に立った情報発信に取り組む</p>	<p>(1) ○様々な機会や仕組みを通じて傾聴するとともに、寄せられた意見や要望を精査・分析し、区政運営の改善に活かせるよう広聴機能を充実します。</p> <p>○区民の多様性や参加しやすい環境づくりに留意しつつ、地域課題を共有するための基礎データ等を電子化し、積極的に公開することにより、区政や地域課題に対する区民の関心を高めていきます。</p>	①	「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合【%】	③	年間の「区民の声」PR回数【回】	
		②		④		
	<p>(2) ○広報としまや区のホームページなどの基幹媒体に加え、SNSなどを積極的に活用し、伝えたい相手に最適な手段で情報提供できるよう戦略的に発信します。</p> <p>○新聞記事や報道番組等への掲載・放映を通じて、区の取組や魅力をタイムリーに区内外へ幅広く発信・PRするため、社会的に注目度の高い事項に関する区の取組を定例の区長記者会見やプレスリリースにより、積極的に報道機関に発信します。</p>	①	「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合【%】	③	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数【件】	
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針(1)	成果指標	① 「区の政策に区民の考えや意見が反映されている」と思う区民の割合	%	49.9	51.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③ 年間の「区民の声」PR回数	回	3	5	5	6	6	6	6	新規	
	活動指標	④										
取組方針(2)	成果指標	① 「区政情報が伝わっている」と思う区民の割合	%	48.5	50.0	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0	継続	
	成果指標	②										
	活動指標	③ 1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数	件	653,953	660,493	667,097	673,768	680,506	687,311	694,184	新規	
	活動指標	④										

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する区民意識調査において、同質問に「反映されている」「少しは反映されている」と回答した区民の割合	区民の声が区政に反映されているかどうかについて、区民がどのように感じているか把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	年間の「区民の声」PR回数	単に「区民の声」をPRするだけでなく、声がどのように反映されたかをPRすることで、区政への参画意識を高めることにつながるため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針(2)	成果指標	①	同質問に「十分に伝わっている」と「ある程度伝わっている」と回答した区民の割合	広報に対する区民の伝わり方が把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	1か月あたりの豊島区ホームページ訪問数	ホームページは、詳しい内容を区民に伝えることができる広報媒体であり、かつ、閲覧数などの区民の動向を定期的に把握することが可能なため		所管課データ	
	活動指標	④					



6

地域の魅力と区民の誇りを高めるシティプロモーション

取組の目標

- 地域の魅力を国内外に広く発信し、世界中から人を呼び込み、地域に賑わいを創出する。
- 本区の認知度・イメージを向上させ、区民等の誇りや愛着を醸成する。

取組方針

区の認知度の向上

本区には、池袋をはじめ、巣鴨、駒込、雑司が谷など地域ごとに特色ある魅力を有しています。

本区の魅力をこれまで以上に多くの方に知ってもらうため、より分かりやすく、的確に発信するとともに、情報の受け手側の関心を引くような効果的な情報発信が求められています。

区のイメージの向上

直近の区民意識調査において8割を超える定住意向の高さに比べ、豊島区に住んでいることに誇りを持つ区民が約6割と低くなっています。

区内外からの本区への評価を高めることで、区民等がさらに本区を好きになり、誇りを持つことにより、豊島区のイメージをさらに向上させることが必要です。

地域の魅力の発信

- 地域の魅力を国内外に広く発信するため、従来の広報活動の枠にとらわれることなく、短期間で一挙に話題を広めることのできるSNSの活用や国内外で開催される旅行博への出展などにより、これまでに本区の情報が届いていなかった人々へのプロモーション活動を充実させることで、世界中から人を呼び込み、地域の賑わいを創出します。
- 職員一人ひとりが、本区のプロモーション活動を行う一員であるという認識のもと、広報部門ばかりでなく職員個々の情報発信スキルを高め、各所管が戦略的に情報を伝達することにより、これまでの周知方法の枠にとられない、新たな発想による街の魅力発信に取り組みます。

地域への愛着や誇りの醸成

- 地域で育まれてきた文化・伝統行事や本区がこれまで培ってきた芸術文化活動に加え、本区の強みである「マンガ・アニメ」などを前面に打ち出し、豊島区ならではの公民一体でのプロモーション活動を展開するなど、豊島区のブランド力をさらに磨き上げ、魅力を高めます。
- 地域の文化・伝統行事などにおける本区の独自性や価値の認識を深めるとともに、積極的な区民参加や、戦略的なプロモート、メディアを介した情報発信の徹底に努め、本区が魅力と活力を兼ね備えた自治体として評価されることにより、広く区民の「地域への愛着や誇り」を醸成し、さらに地域を活性化していきます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）



# 施策チェックシート

## 4. 環境変化(社会動向・法改正・背景等)

- ◇SNS等のデジタル媒体での情報取得ニーズの高まり
- ◇東京23区内での存在感が相対的に低下している豊島区の魅力発信
- ◇インバウンド需要の高まり。豊島区はやや東京都内でやや立ち遅れの感あり

## 5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区に「住み続けたい」と思う区民の割合は8割を超えている</li> <li>・「区に住んでいることに誇りを感じている」と思う区民の割合が60.4%にとどまっている(区民意識調査)</li> </ul>
施策に反映させた点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の情報取得ニーズは多様化しているため、デジタルデバイスに対応した情報発信に取り組むことを明記</li> <li>・豊島区のイメージを形成させるプロモーション(マンガ・アニメ・コスプレ、アーバンスポーツ)を行うことを明記。</li> </ul>

## 6. 基本構想の3つの理念を意識した点 ※現時点の構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも 主役」を意識した点 【平和・人権、多様性の尊重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のイメージ、魅力を伝える対象として、インバウンドを意識した。新宿、渋谷など競合都市と比較して来街者が少ない実態がある</li> <li>・海外人在住比率が11%超の中で、海外にも通じるプロモーションを意識した。</li> </ul>
(2)「みんながつながる」を意識した点 【参画・協働・共創】	<p>区の魅力を伝えてブランド化していくためには、地域の多様な主体と連携し多様な方向から発信していくことがより効果的であることから、「チームとしま」の力を活用し、公民一体となって取り組むことを明記した。</p>
(3)「『としま』らしさ があふれる」を意識した点 【文化・歴史の継承、地域特性の活用】	<p>「チームとしま」の力を活用した公民一体となったプロモーションなどの展開により、区のブランド力をさらに磨き上げ、区の魅力を区内外へ広くアピールしていくことを明記した。</p>

## 指標設定チェックシート

施策名	6	地域の魅力と区民の誇りを高めるシティプロモーション
部課名	政策経営部 シティプロモーション課	

### 【1. 取組の目標、取組方針と指標の対応関係】

取組の目標	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○地域の魅力を国内外に広く発信し、世界中から人呼び込み、地域に賑わいを創出する。</p> <p>○本区の認知度・イメージを向上させ、区民等の誇りや愛着を醸成する。</p>	<p>(1) ○ 地域の魅力を国内外に広く発信するため、従来の広報活動の枠にとらわれることなく、短期間で一挙に話題を広めることのできるSNSの活用や国内外で開催される旅行博への出展などにより、これまでに本区の情報が届いていなかった人々へのプロモーション活動を充実させることで、世界中から人呼び込み、地域の賑わいを創出する。</p> <p>○ 職員一人ひとりが、本区のプロモーション活動を行う一員であるという認識のもと、広報部門ばかりでなく職員個々の情報発信スキルを高め、各所管が戦略的に情報を伝達することにより、これまでの周知方法の枠にとられない、新たな発想による街の魅力発信に取り組めます。</p>	①	シティプロモーション課が発信するSNSのフォロワー数【人】	③	シティプロモーション課が発信するSNSの投稿数【回】
		②		④	
	<p>(2) ○ 地域で育まれてきた文化・伝統行事や本区がこれまで培ってきた芸術文化活動に加え、本区の強みである「マンガ・アニメ」などを前面に打ち出し、豊島区ならではの公民一体でのプロモーション活動を展開するなど、豊島区のブランド力をさらに磨き上げ、魅力を高めます。</p> <p>○ 地域の文化・伝統行事などへの本区の独自性や価値の認識を深めるとともに、積極的な区民参加や、戦略的なプロモートやメディアを介した情報発信の徹底に努め、本区が魅力と活力を兼ね備えた自治体として評価されることにより、広く区民の「地域への愛着や誇り」を醸成し、さらに地域を活性化していきます。</p>	①	「豊島区に住んでいることを誇りを感じている」と思う区民の割合【%】	③	シティプロモーションにかかわるイベント等の年間のプレスリリース数【件】
		②		④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	シティブロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	人	—	—	500	1,000	1,500	2,000	2,500	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	シティブロモーション課が発信するSNSの投稿数	回	—	—	48	48	48	48	48	新規	
	活動指標	④											
取組方針(2)	成果指標	①	「豊島区に住んでいることを誇りを感じている」と思う区民の割合	%	60.4	—	64.0	68.0	72.0	76.0	80.0	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	シティブロモーションにかかわるイベント等の年間のプレスリリース数	件	—	—	6	6	6	6	6	新規	
	活動指標	④											

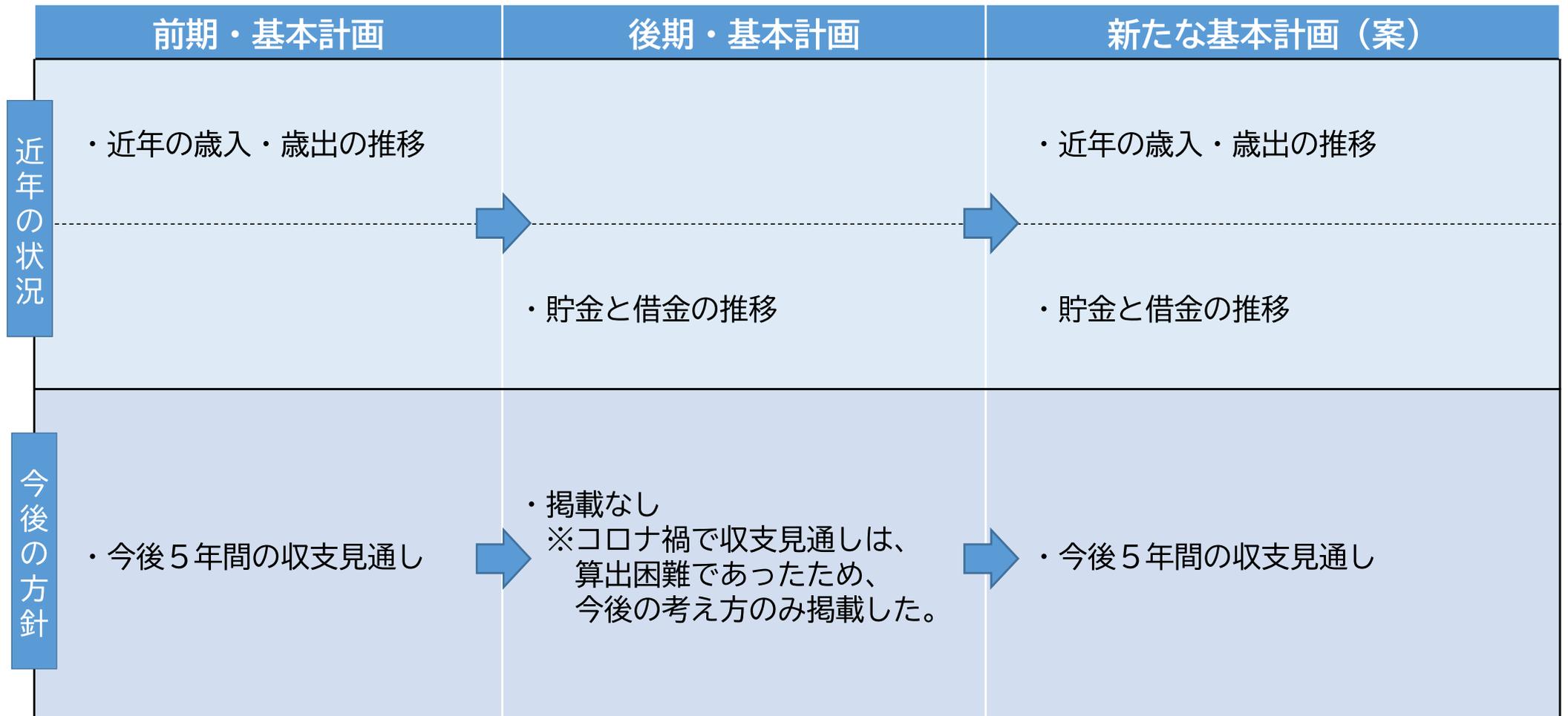
指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標	①	シティブロモーション課が発信するSNSのフォロワー数	本区のシティブロモーションにかかる情報発信に対する期待度を把握できる指標であるため	所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③	シティブロモーション課が発信するSNSの年間投稿数	シティブロモーションにかかる情報発信量を表す指標であるため	所管課データ
	活動指標	④			
取組方針(2)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する区民意識調査において、同質問に「誇りに感じている」「やや誇りに感じている」と回答した区民の割合	区民であることを誇りに思うかどうかを把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②			
	活動指標	③	シティブロモーションにかかわるイベント等の年間のプレスリリース数	シティブロモーションにかかわる活動量を表す指標であるため	所管課データ
	活動指標	④			



# 基本計画総論「財政の状況」の方向性について



# 総論「財政の状況」の方向性について



- ・全項目、従来の要素をベースとして、最新の情報へ更新する
- ・今後5年間の収支見通しは、令和7年予算編成のタイミングで更新する